

民生委員さんと主任児童委員さん総勢9名の方を学校にお迎えして小1時間の懇談会。いわゆる町の学級委員さんと言われる方たちである。民生委員制度は100年以上の歴史があり、地域を見守ってくださっている▼子どもたちは、登下校時を中心に見守りっただいでいる。個人的には学童期によく怒られたおじちゃんやおばちゃんだ▼最近、登下校以外では地域で子どもを見なくなったとも聞かされたが、それは同感。私の住む地域でも子どもの姿を見かけない▼子どもの声は甲高い。何を言っているのかわからないが遠くからよく響いてくる。休み時間になると運動場からとても楽しそうな声が聞こえてくる。黙って歩けない習性もあるようで、校外学習へ出かけていく時はもちろん、帰ってきた時は声で分かる▼その子どもの声は、授業になると一定のルールの中で規制される。よい意味で空気かわる。民生委員さん方にはそんな日常の授業の様子を参観いただいた。阿下喜の子どもたちは、真面目に楽しく学びに向かう子どもたちである。お客さんに授業の姿を見てもらう機会も多いが、さほど動じない▼参観の最後は6年生の教室。お客さんが入ってきても気が付いていないかのような落ち着きで課題に取り組んでいた・・・。と思ったらある女の子が、「ばあちゃん見に来た～。緊張するな～。」小さな声でつぶやくその表情はキラキラしていた。